



目 次

1. ジョブ制御値の変更について 1
2. 公用データベース「有害動物学データベース(JMEZ)」公開のお知らせ 4
3. 第15回九州大学大型計算機センター計算機科学研究集会講演募集 4
4. 平成9年度(後期)プログラムライブラリ開発計画募集のお知らせ 5
5. 利用負担金の納入方法の一部変更について 5

大型計算機センターWWWホームページ

<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp>

1. ジョブ制御値の変更について

平成9年 8月1日(金)から、スーパーコンピュータ VPP700/56 及び汎用コンピュータ M-1800/20U における M-VPP 連携機能等の制限値を下表のように変更します。

並列ジョブキューは 1PE 当たり 2ジョブが同時に実行可能であり、合計で 1.7GB のリージョンを利用できるようになっています。

現在は1ジョブ当たり 1.7GB のリージョンを割り当てていますが、リージョンの利用状況を調査したところほとんどのジョブが 0.5GB 以下であり、リージョンが空いているにもかかわらずリージョン不足による実行待ちが発生しています。

今回の変更により、コンパイル専用キューにおいて長大なソースプログラムのコンパイル時のリージョン不足の解消、またPEの有効利用による実行待ち時間の短縮を図ります。

変更内容

1. コンパイル専用ジョブキュー c のリージョンサイズを 100MB から 500MB に変更
2. 非並列及び並列ジョブキュー s、p1、p8、p16、p32 の 1PE 当たりのリージョンサイズを 1.7GB 固定から、省略時リージョンサイズ 0.5GB 及び制限値リージョンサイズ 1.7GB に変更
3. M-VPP 連携機能のジョブクラス W、X、Y 及び Z の 1PE 当たりのリージョンサイズを 1.7GB 固定から、省略時リージョンサイズ 0.5GB 及び制限値リージョンサイズ 1.7GB に変更
4. MSP のバッチジョブのジョブクラス A、B、N のリージョンサイズを 10MB から 100MB に拡大、また TSS ジョブのリージョンサイズの省略値 10MB を廃止し、制限値 50MB を 100MB に拡大

UXP/V及びUXP/M

システム区分	適用ジョブ	キュー	CPU時間	リージョンサイズ		備考
				省略値	制限値	
スーパー コンピュータ VPP700/56	バッチジョブ	c	60分	500MB		コンパイル専用
		s	60分	0.5GB	1.7GB	非並列
		p1	1200分	0.5GB	1.7GB	非並列
		p8				8PE並列
		p16		1PEあたり 0.5GB	1PEあたり 1.7GB	16PE並列
	p32			32PE並列		
TSSジョブ		60分	100MB		ベクトル演算可	
汎用 コンピュータ M-1800/20U	バッチジョブ	ss	180分	100MB		
	TSSジョブ		60分	100MB		ベクトル演算可

MSP (汎用コンピュータ M-1800/20U)

適用	ジク ョラ ブス	CPU 時間	ファイル アクセス	リージョンサイズ		端 末 接 続	ラインプリンタ		図形文字 パターン 数	備考
				省略値	制限値		出力枚数	出力行数		
バ ツ チ ジ ョ ブ	A	10分	20万回	100MB		—	600 枚	36,000 行	100,000 パターン	
	B	180分	50万回							
	N	10分	20万回							MTジョブ
	F	180分	50万回	200MB						
TSS ジョブ		60分	制限なし	100MB		1435 分				
M V P P 連 携	W	60分	50万回	0.5GB	1.7GB					非並列
	X			0.5GB	1.7GB					非並列
	Y	1200 分	50万回	1PE あたり	1PE あたり					8PE並列
	Z			0.5GB	1.7GB					16PE並列

リージョンサイズの指定方法

1. スーパーコンピュータ VPP700/56

ジョブのリージョンサイズの指定は、バッチリクエストの投入を行う `qsub` コマンドで行います。形式は次のとおりです。

```
qsub options scriptfile
```

`options` はオプションを空白で区切って指定します。`scriptfile` はバッチリクエストのスクリプトファイル名です。リージョンサイズはオプションで指定します。形式は次のとおりです。

`-lM memory` `memory` で使用するバッチリクエストのリージョンサイズの上限を MB 単位または GB 単位で指定します。MB 単位の指定方法は `999mb`、また GB 単位の指定方法は `9[9]gb` です。

【制限値の指定例】

```
kyu-cc% qsub -q p1 -lM 800mb a.out
kyu-cc% qsub -q p8 -lIP8 -lM 1.7gb a.out
注) -lIP8 及び -lM の -l は小文字の 'L' です
```

実行プログラムのリージョンサイズは、`gsize` 及び `qps` コマンドで確認できます。なお `qsub`、`gsize` 及び `qps` コマンドの詳細は「VPP700/56利用の手引」または「センターニュース No. 550 及び No. 559」を参照してください。

2. 汎用コンピュータ M-1800/20U

M-VPP 連携ジョブのリージョンサイズの指定は、カタログドプロシジャ FORT で行います。形式は次のとおりです。

```
// EXEC FORT,VPP=YES,VREGION=n
```

`VREGION=n` スーパーコンピュータのリージョンサイズを指定します。単位は MB です。

【制限値の指定例】

```
// EXEC FORT,VPP=YES,VREGION=1740
```

なお、M-VPP 連携機能の利用方法の詳細は「センターニュース No. 547」を参照してください。

(システム管理掛 ダイヤルイン 092-642-2308)

2. 公用データベース「有害動物学データベース (JMEZ)」公開のお知らせ

このほど、公用データベース「有害動物学データベース (JMEZ)」が本センターの MSP システム上で公開されました。JMEZ は、日本衛生動物学会発行の「衛生動物」第 1 巻～第 45 巻に掲載された原著・総説・短報や学会大会・全国大会の講演要旨等の文献情報をレコード単位としたデータベースで、データベース管理システム SIGMA を利用して、和文キーワード・英文キーワード・著者名による検索が可能です。

データベースの詳細や検索法については、センター広報 Vol. 30, No. 2 に解説記事が掲載されていますので、そちらをご覧ください。

(データベース室 ダイヤルイン 092-642-2310)

E-mail: database@cc.kyushu-u.ac.jp

3. 第 15 回九州大学大型計算機センター計算機科学研究集会講演募集

本センターでは、標記研究集会を下記のように開催します。この研究集会の目的は、センター利用者にとって有益な研究成果あるいは計算機科学への問題提起を含んだ研究の発表と討論の場を提供し、センター利用者と計算機科学の研究者との交流の接点をつくることにより、計算機利用技術の向上を図ろうとするものです。センター利用者の方々の積極的な研究発表をお願いいたします。

日 時	平成 9 年 11 月 25 日 (火) 10:00～17:00
場 所	九州大学国際ホール
応募方法	A4 判用紙 1 枚程度の講演概要をご用意いただき、9 月 12 日 (金) までに提出してください。このとき、発表者の氏名・所属・電話番号も明記してください。この講演概要は編集委員会における審査やプログラム検討のために使用するもので、様式は自由です。電子メールでのお申し込みも歓迎いたします。
審 査	応募論文は、編集委員会において、本研究集会の趣旨に基づいて審査します。審査結果は、10 月上旬までにご連絡いたします。
講演方法	会場には OHP をご用意します。その他の機器の利用をご希望の方は、事前に下記の連絡先までご相談ください。また、当日は参加者配布用資料を 50 部ご持参ください。
講演時間	質疑応答を含め 30 分を予定していますが、講演件数によって多少調整することがあります。
論文提出	発表いただいた研究は、九州大学大型計算機センター計算機科学研究報告として、平成 10 年 3 月に発行する予定です。このための原稿 (カメラ・レディー・フォーム 10 頁程度) を平成 10 年 1 月末ごろまでに提出していただきます。要領は審査結果決定後にお知らせします。
申込み先	九州大学大型計算機センター 天野 浩文 〒812-81 福岡市東区箱崎 6-10-1 E-mail: amano@cc.kyushu-u.ac.jp FAX: 092-642-2294 TEL: 092-642-2310

4. 平成9年度（後期）プログラムライブラリ開発計画募集のお知らせ

標記開発計画を下記のとおり募集します。なお、後期分に関しては、センターが繁忙期に入ることから、多数の長大ジョブの実行が必要であると考えられる場合は、原則として前期に申請することをお願いいたします。

記

1. 応募資格 本センター利用有資格者
2. 応募締切 平成9年8月29日(金)
3. 応募手続 所定の申請書に必要事項を記入の上、連絡先まで提出する。
 - 申請書および募集要領は、ライブラリ室に用意してありますので、電話、メール等で請求してください。
 - 電子メールによる申請も可能です。下記 e-mail アドレスまで連絡をお願いします。折り返し募集要領、申請書の FORMAT をお送りします。

【連絡先】

九州大学大型計算機センター・研究開発部(プログラムライブラリ室)
牧嶋 直子(内線 2296)
e-mail : maxima@cc.kyushu-u.ac.jp

4. 対象課題

- (a) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラムの開発。
- (b) ある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムの開発。

なお、開発に関する事項の詳細については、募集要領を参照してください。

5. 利用負担金の納入方法の一部変更について

本センター計算機を「公・私立学校経費、他省庁経費（文部省外）、委任経理金、科学研究費、受託研究費（九大外）」で利用されている皆さまの利用負担金の納入方法を平成9年6月分より下記のとおり変更します。

記

1. 1か月の利用負担金が1,000円に満たない負担金については、累積額が1,000円に達した月の翌月に納入告知書を発行します。（納入手続きは従前通り）
 2. 科学研究費の利用負担金は、9年度については最終利用日を平成10年2月11日(水)までとし、1,000円に満たない負担金であっても同月に納入告知書を発行します。
- * なお、利用負担金の状況については、MSPのコマンド CHARGE でご参照ください。

READY
CHARGE 9704:

===== USER-NO.=A79999A RIYOU FUTAN-KIN ZYOUHOU == (\$:YEN) =====
<< ALL YOSAN --> \$500,000 >>

RIYOU-TUKI	SIYOU-GAKU	CANCEL-GAKU	KYOUTUU-FUTANKIN	SEIKYU-GAKU	RUIKEI (01-12)
*97.04	\$51,296	\$0	\$2,564	\$53,860	\$178,137
*97.05	\$54,283	\$0	\$2,714	\$56,997	\$235,134
*97.06	\$104,119	\$0	\$5,205	\$109,324	\$344,458
>97.07.06	\$7,394	\$0	\$369	\$0	\$352,221

*** PLEASE INPUT. DISPLAY-NO & PRM
:
/*

(会計掛 ダイヤルイン 092-642-2304)